

## 第 28 回日本組織適合性学会大会のご案内

第 28 回日本組織適合性学会大会

大会長 小林 孝彰

(愛知医科大学 外科学講座 (腎移植外科))

日本組織適合性学会・会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 28 回日本適合性学会大会を名古屋市 (ウインクあいち) で 2019 年 9 月 21 日 (土) から 23 日 (月:祝) まで下記の要領で開催いたします。テーマは『多様性と個性, 連携と創出: 組織適合性学会の役割と未来』です。プログラムについては現在準備中ですが, すでに決定している企画をご紹介しますと思います。

**【特別講演】**では, 以下の 3 名の方をお招きする予定です。

\* Frans Claas 先生 (Immunohematology and Blood Transfusion, Leiden University Medical Center)

「Transplantation of highly sensitized patients & HLA epitope matching to prevent sensitization」

\* Eric Spierings 先生 (Laboratory of Translational Immunology, University Medical Center Utrecht)

「T-cell epitopes in HLA-mismatched transplantations」

\* 仲野徹先生 (大阪大学医学系研究科病理学) 「エピジェネティクスと医学」

移植領域で話題となっている HLA エピトープに関する最新の研究内容です。B cell EPITOPE は Frans Claas 先生に T cell EPITOPE は Eric Spierings 先生にご講演いただきます。ともにこの領域の世界的権威です。B cell EPITOPE と T cell EPITOPE の違いについて理解を深めるとともに, de novo DSA (ドナー特異的 HLA 抗体) 産生に関わる有用な情報を入手できます。また, エピジェネティクスとは, DNA 塩基配列の変化を伴わず, 後天的な修飾により遺伝子発現を制御・伝達する仕組みを解明する学問であり, 生命科学では重要な研究となっております。この領域の第一人者で, 文筆, 落語に造詣が深く, 多くの著書もある仲野徹教授の楽しいご講演をお届けします。

**【初心者講習会】**は, 初日 21 日の夜に開催します。若手臨床検査技師の方だけでなく, 臨床で活躍されているベテランの先生方も対象とします。こんなことを今さら聞けないという内容まで含まれておりますので, この機会にぜひご参加ください。その後の懇親会 (交流会) も企画しております。

2 日目のポスターセッションでは, ワインを準備いたしますので, 活発な討論を期待しています。

今回の大会では, 3 連休が最大のライバルですので, 「皆で, 楽しんで, 学び, 語り合い, 元気がでる」学会になることを目指してプログラムを企画しております。よいご提案がございましたら遠慮なくお教えください。

今回初となりますが, 大会期間中 **【託児所】** の設置を考えております。正式決定後には, ホームページなどでご案内いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会 期: 2019 年 9 月 21 日 (土) ~ 9 月 23 日 (月: 祝)

会 場: ウインクあいち

〒 450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

TEL: 052-571-6131

### 大会プログラム (予定)

特別講演 (3 題), 学会賞受賞講演, シンポジウム, ワークショップ, 一般演題 (口演・ポスター), QCWS 集会, 教育講演 (認定 HLA 技術者講習会), 初心者講習会, ランチョンセミナーなど

演題応募期間: 2019 年 4 月 15 日 (月) ~ 5 月 24 日 (金)

### 大会事務局

本大会に関するお問い合わせは, 下記の事務局にお願いいたします。

愛知医科大学 外科学講座 (腎移植外科)

第 28 回日本組織適合性学会大会事務局

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1-1

TEL: 0561-62-3311 E-mail: [jshi2019@aichi-med-u.ac.jp](mailto:jshi2019@aichi-med-u.ac.jp)

### 大会ホームページ

<http://square.umin.ac.jp/jshi2019>

参加登録, 演題募集要項, 大会プログラムの詳細については, 順次ホームページでお知らせいたします。

## 2019 年度学術奨励賞候補者の公募について

### 会員の皆様方へ

日本組織適合性学会では、若手学会員の学術研究を奨励する「学術奨励賞」を設けております。学術奨励賞は「組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野における、秀でた学術的研究を若い学会員に奨励するために優れた若手研究者を表彰し、もって当該分野の発展に寄与すること」を目的としております。上記の趣旨に則り、2019 年度も日本組織適合性学会「学術奨励賞」候補者を、以下の要領で公募いたしますので、奮ってご応募ください。

### 1. 助成内容

第 28 回日本組織適合性学会大会（2019 年 9 月 21 日～23 日：名古屋市）において、学術奨励賞応募演題として発表された一般演題の中から、本学会が定める選考委員会の厳正な審査により、特に優秀と認められた演題の応募者に学術奨励賞を授与いたします。授与件数は若干名で、賞金 5 万円あるいはそれ以下の副賞の授与を予定しております。

### 2. 応募資格

本学会の正会員（当該年度大会までに正会員となる者を含む）であり、以下の条件のすべてを満たす者とします。

- 1) 組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野に関する学術研究において、その内容が優れていること。
- 2) 当該年度の会費を納入済みであること、または当該年度の学術集会大会までに正会員として会費を納入すること。
- 3) 学術奨励賞を受賞した者は、原則として次年度以降も正会員を継続すること。
- 4) 当該年度の学術集会大会に、筆頭演者として演題を応募すること。
- 5) 応募しようとする演題の内容において、応募者が中心的な役割を果たしていること。
- 6) 応募しようとする演題の内容が本学会に未発表であること。
- 7) 受賞後に MHC へ原著論文あるいは総説を執筆できること。
- 8) 過去 3 年間に学術奨励賞を受賞していないこと。
- 9) 当該年度の 4 月 1 日において、原則として 45 才以下であること。

### 3. 応募方法

学術奨励賞に応募しようとする会員は、演題申し込み画面から一般演題を登録する際に、「学術奨励賞応募様式」をダウンロードしていただき、必要事項を記載した上で、同 Web サイト上に演題抄録と共にアップロードしてください。この操作により、学術奨励賞への応募が完了します。あるいは一般演題を登録した後に、以下の 1) 2) を学術賞担当理事・一戸辰夫（e-mail: nohe@hiroshima-u.ac.jp）あてに、メールで送信して頂いても結構です。なお、応募期限は一般演題の申し込み締め切り日までといたします（それ以降の応募は受理いたしません）。

#### 1) 演題抄録

一般演題に応募した抄録

## 2) 学術奨励賞応募様式

登録用紙の1頁目に、演題名、演者（全員）、所属（全員）、および応募者（筆頭演者）の氏名、生年月日、年齢、連絡先住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレスを記入してください。2頁目以降に、(1) 応募した研究の背景、(2) 研究の意義、(3) 日本組織適合性学会との関わり（これまでの関わりと、今後の方針・計画など）を、項目ごとにそれぞれ300～400字程度にまとめてください。

## 4. 選考および結果通知について

受賞候補者には第28回学会大会において、「学術奨励賞応募演題」として口頭発表を行っていただきます。理事長・学術賞担当理事・学会賞選考委員および学術賞担当理事が指名した若干名の評議員によって構成される学術奨励賞選考委員会が、応募書類と口頭発表の内容について厳正な審査を行い、受賞者を選考いたします（選考委員が受賞候補者と緊密な利害関係にある場合は、当該候補者の審査には加わりません）。なお、応募者が多い場合には、選考委員会が事前に書類審査を行い、数名以内の受賞候補者を選出します（書類選考で奨励賞候補演題として採択されなかった場合には、応募抄録は大会における通常の一般演題として受理されます）。

第28回学会大会中に選考結果を公表し、受賞者の表彰式を行います。

## 5. 受賞者にかかる義務について

学術奨励賞受賞者には、原則として受賞後3ヶ月以内に、受賞課題に関する原著論文あるいは総説をMHCへ投稿していただくとともに、2019年度末までに、助成が行われた研究課題に関する報告書（様式は別途通知いたします）を、[日本組織適合性学会事務局 \(hlajimu@m.u-tokyo.ac.jp\)](mailto:hlajimu@m.u-tokyo.ac.jp) へてにご提出いただくこととなります。

## 6. 助成金の使途

助成金の使途については、特に制限はありませんが、学術奨励賞の趣旨を理解のうえ、適切に使用してください。なお受賞者には、賞金の使途とその内訳を前述の報告書に記載していただきます。

## 7. 問い合わせ先

応募方法等に関する問い合わせは、[学術賞担当理事・一戸辰夫 \(e-mail: nohe@hiroshima-u.ac.jp\)](mailto:nohe@hiroshima-u.ac.jp) 宛にご連絡ください。

**組織適合性検査技術者認定制度  
2019 年度・認定 HLA 検査技術者講習会のお知らせ**

組織適合性検査技術者認定制度委員会  
委員長 中島 文明  
組織適合性教育委員会  
委員長 椎名 隆

**日 時**：2019 年 9 月 21 日（土曜日）  
時刻：10 時 30 分～12 時 30 分の予定

**会 場**：第 28 回・日本組織適合性学会 大会会場  
ウインクあいち  
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38（TEL 052-571-6131）

**テキスト**：テキストは講習会の約 1 ヶ月前に、学会ホームページ上に掲載しますので各自、御参照ください。  
会場でのテキストの販売は、いたしません。

**受講証明書**：認定制度に関わる受講証明の受領を希望される方には、会場入口の受付にて、1 人につき 1 枚を発行いたします。

**内 容**：各講習とも質疑応答を含めて、40 分間を予定しています。

- (1) HLA に関する基礎医学的な講演  
木村 彰方 先生（東京医科歯科大学難治疾患研究所）  
「HLA の基礎知識—認定試験問題から—」
- (2) HLA タイピングあるいは抗 HLA 抗体検査に関する講演  
中島 文明 先生（日本赤十字社中央血液研究所）  
「HLA 抗体検査の判定基準と結果の解釈について」
- (3) 臓器移植の臨床医学に関する講演  
木村 貴文 先生（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）  
「臍帯血バンク事業の現状と将来展望」

この講習会は、今後 HLA 検査技術者認定を取得、あるいは更新しようとする者を対象に実施されますが、それ以外の大会参加者であっても自由に参加することができます。事前に受講希望届けを提出し、事前登録していただく必要はございません。

## 初心者講習会の開催及び参加希望者募集について

組織適合性学会教育委員会  
委員長 椎名 隆  
組織適合性学会初心者教育部会  
部会長 黒田ゆかり

日本組織適合性学会では、学会大会プログラムにおいてQCワークショップや技術者講習会を開催し、学会員の組織適合性検査に関わる知識や技術の向上を目指しております。しかし一方では、組織適合性検査に関する基礎的な知識の習得や日常業務に役立つポイントなどの情報交換ができる時間を十分に確保することは難しい状況があります。そこで、今年度も下記の通り、HLAおよびHLA検査に関する基礎的な内容の教育訓練を目的とした「初心者講習会」（複数企画を予定）を大会期間中に開催する事と致しました。

### 記

- 1, 対 象：学会員および大会参加者  
(組織適合性検査の初心者で、HLAの基礎的な内容の教育訓練を希望する方)
- 2, 日 時：日本組織適合性学会第28回大会期間中  
2019年9月21日(土) 18:30～20:30(予定)
- 3, 会 場：ウインクあいち
- 4, 企 画：基礎講義およびワークショップ  
(WS1) 日常の検査「HLA検査のきほんのき」  
(WS2-1) 臓器移植にかかわるあなたのために  
「検査結果報告書に自信がありますか」(実務者向け)  
(WS2-2) 臓器移植にかかわるあなたのために  
「検査結果報告書をどう判断していますか」(医師向け)
- 5, 定 員：企画(WS1)と(WS2-1)は20名程度、(WS2-2)は10名程度  
(定員数を超える場合は、当委員会で選考を行う場合があります。)
- 6, 参加費：無料
- 7, その他：申し込みに関する詳細は6月中旬に日本組織適合性学会のホームページ (<http://jshi.umin.ac.jp/>)  
に掲載致します(応募締め切りは7月末を予定しています)。

以上

## 平成 30 年度・認定 HLA 検査技術者講習会アンケート集計結果

開催日時：平成 30 年 9 月 23 日（日）8：50～10：50

会 場：第 27 回・日本組織適合性学会 大会会場  
（まつもと市民・芸術館 第 1 会場）

・回答者総数：121 名

### 1) 旅費・滞在費の財源について 回答者 121 名

①	私費	25 名 (21%)
②	職場からの支援	93 名 (77%)
③	その他	3 名 (2%)

③その他の内訳：研究費，教育研究経費

### 2) 職場・職務について

職場 回答者 121 名

①	病院	63 名 (52%)
②	血液センター	11 名 (9%)
③	検査センター	14 名 (12%)
④	大学（国公立，私立）	11 名 (9%)
⑤	民間企業	16 名 (13%)
⑥	その他	6 名 (5%)

国立・公立：33，私立：30

国立・公立：9，私立：2

⑥その他の内訳：研究所

職務 回答者 118 名

①	臨床医	4 名 (3%)
②	臨床検査業務	77 名 (59%)
③	検査受託業務	15 名 (12%)
④	製造業関連業務	2 名 (2%)
⑤	製品開発業務	10 名 (8%)
⑥	教育業務	1 名 (1%)
⑦	研究業務	9 名 (7%)
⑧	その他	3 名 (2%)

兼務内訳（臓器：28，輸血：32，造血幹：17）

⑧その他の内訳：薬剤師，学生，生化学・血液等一般検査業務，技術サポート，学術・品質情報課

### 3) 参加者の認定制度への関わりについて

認定資格の取得状況および取得への希望 回答者 121 名

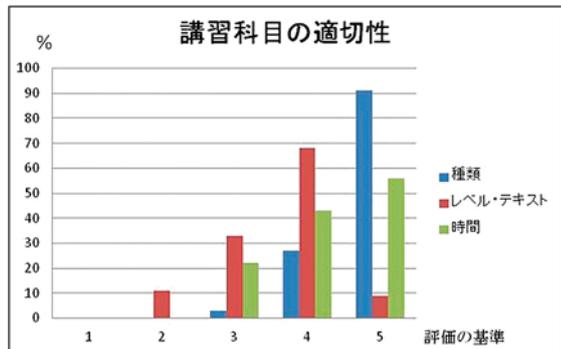
- ① 取得済み 49 名 (40%) ② 希望 61 名 (50%) ③ 希望しない 9 名 (7%)  
④ 回答なし 3 名 (2%)

取得済みまたは取得を希望する資格 回答者 73 名

- ① 認定技術者 59 名 (81%) ② 認定指導者 14 名 (19%)

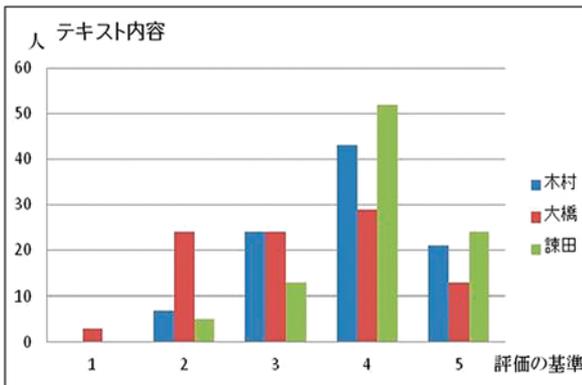
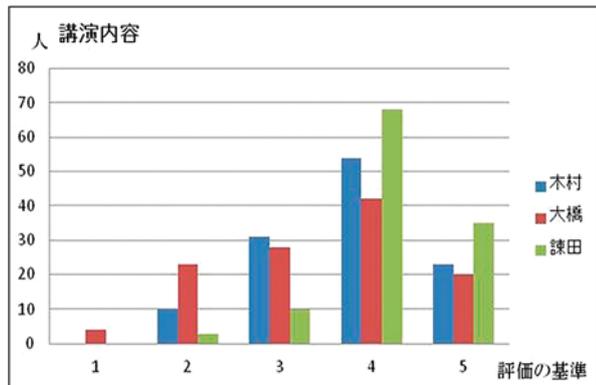
4) 学会ホームページに掲載された、講習会テキストの事前確認の有無 回答者 121 名  
あり 94 名 (78%) なし 27 名 (22%)

5) 講習科目の種類は適切であったか？



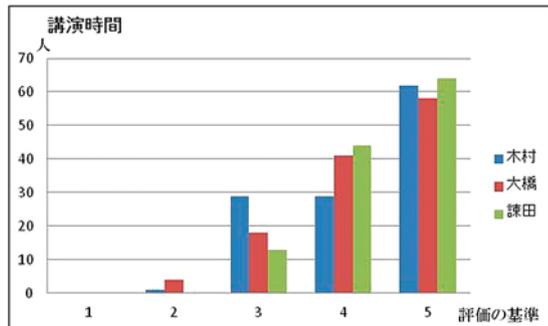
評価の基準  
 5:すべての科目において適切であった。  
 4:一部の科目に問題があったが、ほぼ適切であった。  
 3:約半数の科目は適切であった。  
 2:多くの科目について不適切であった。  
 1:すべての科目について不適切であった。

6) 講習内容のレベルならびに講習テキストは適切であったか？



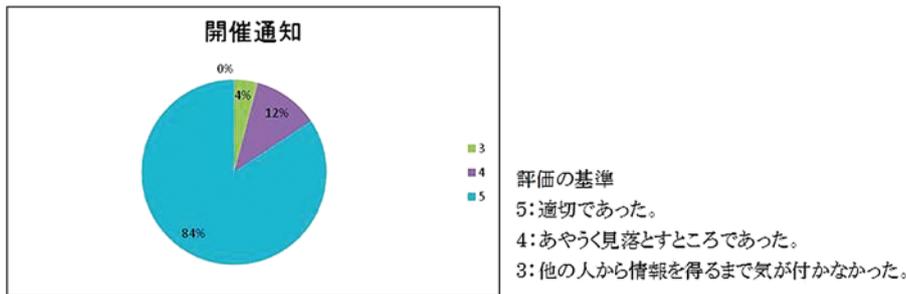
評価の基準  
 5:すべて理解できた。  
 4:一部は難解であったが、ほぼ理解できた。  
 3:約半分は理解できた。  
 2:多くの内容について難解であった。  
 1:すべての内容が難解であった。

7) 講習時間は量的に適切であったか？



評価の基準  
 5:適切であった。  
 4:ほぼ適切であった。  
 3:もつと長時間の講習を受けたかった。  
 2:講習時間はもう少し短くてもよかった。  
 1:その他

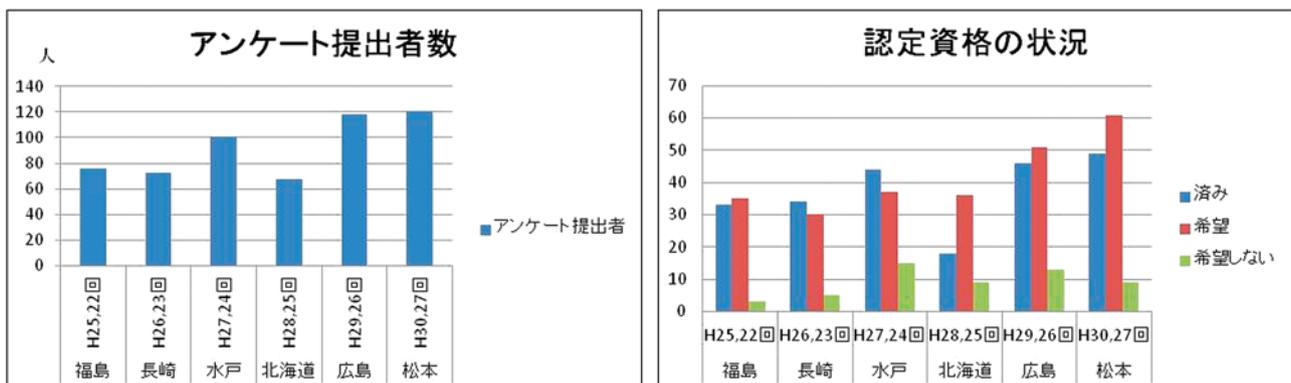
8) 講習会の開催通知は適切であったか？



9) 意見・要望

- 会場にテーブルが欲しい。
- 統計解析の講演では、実際の論文データで解説して欲しかった。
- テキストの修正があれば、訂正版を PDF で開示して頂きたい。
- 試験問題の解説は大切なので、非常に良かった。
- 使用したスライドを HP にアップして欲しい。
- 講演のプレゼン内容を HP に掲載して欲しい。
- 「テキストは印刷してお持ち下さい」のテキストを入手できるサイトとリンクして欲しい。
- 講習会のテキストを容易に入手できる様にして欲しい。
- 大会開催日は彼岸の次期を避けて欲しい。
- タイムスケジュールの再検討して欲しい。QCWS を早く始め、模擬テストと入れ替えて欲しい。
- 認定技術試験の傾向、結果についても述べて欲しい。
- 統計の講義をシリーズで実施して欲しい。
- HLA の反応系を図式化して解説して欲しい。
- エピトープの基礎について講演して欲しい。
- 免疫学の中での HLA の位値づけに関する説明をして欲しい。
- HLA-G と妊娠免疫について講演して欲しい。
- 免疫抑制剤について講演して欲しい。
- MHC の進化、NK と MHC との関係に関する講演を聞きたい。

10) 第 22 回 (H25) ～第 27 回 (H30) 年度におけるアンケート提出者数と認定資格状況



## 組織適合性技術者認定制度委員会・部会名簿（2019）

### 組織適合性技術者認定制度委員会

委員長：中島 文明

副委員長：橋口 裕樹

委員：石塚 敏，一戸 辰夫，大橋 順，木村 彰方，黒田 ゆかり，高 陽淑，椎名 隆，  
田中 秀則，成瀬 妙子，藤井 明美，宮寺 浩子，湯沢 賢治

### 資格審査部会（※：施設認定担当）

部会長：石塚 敏

副部会長：藤井 明美※

部員：清水 まり恵，田中 秀則※，中島 文明，成瀬 妙子，橋口 裕樹※

### 試験問題検討部会

部会長：木村 彰方

副部会長：成瀬 妙子

部員：一戸 辰夫，大橋 順，椎名 隆，土屋 尚之，中島 文明，西村 泰治，湯沢 賢治

### QC ワークショップ部会

部会長：中島 文明

副部会長：高 陽淑

部員：石塚 敏，一戸 辰夫，内田 みゆき，奥平 裕子，木村 彰方，黒田 ゆかり，小林 孝彰，  
田中 秀則，橋口 裕樹，藤井 明美，藤原 孝記，宮崎 孔，湯沢 賢治

### ワーキンググループ

HLA タイピング WG：奥平 裕子，吉川 枝里，宮崎 有紀

抗 HLA 抗体 WG：杉本 達哉，白水 隆喜，横沢 佑弥

クロスマッチ WG：橋口 裕樹，金本 人美，高山 智美，藤井 明美

表記法 WG：黒田 ゆかり，石塚 敏，木村 彰方，田中 秀則

評価方法検討 WG：高 陽淑，石塚 敏，黒田 ゆかり，田中 秀則，中島 文明